

# テクノス通信 VOL. 22 Mar.2011



## 「センサーのケーブル断線防止！設置工夫」

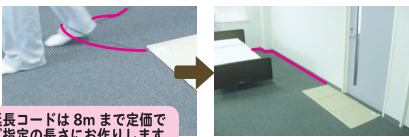
現在多くの現場でご活用頂いているケーブルタイプのセンサーですが、断線故障や引っ掛け事故を防ぐため、ケーブルの配線整理等には注意する必要があります。少し工夫をするだけで、故障の確率は減少し、より便利にご使用いただけます。今回はケーブルタイプを導入の現場から、断線につながりにくい設置・活用の工夫をご紹介します。

テクノスジャパンに届く修理品の約70%はケーブル断線故障です。

### ケーブルタイプの故障に繋がりやすい例とその解決法！

ケーブルの長さが足りず、ケーブルを張った状態での設置になるので、引っ掛けによる断線故障、事故につながるかも…

延長コードを使用することにより、壁に沿わせて床に配線が可能となり、引っ掛け・断線を防止。



延長コードは8mまで定価でご指定の長さにお作りします。(8mを超える場合は定価に課金で対応可能です)

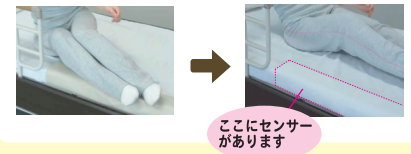
1人に複数台のセンサーを使用したいけど、部品やケーブルが増えることで、対象者やスタッフの引っ掛け断線につながるかも…

分岐ハーネスを使用することにより、1台の中継ボックスで2～3台のセンサーを併用することができます。



ケーブル配線に注意していても、センサーが見えていることで対象者が気づき、ケーブルを触ってしまうかも…

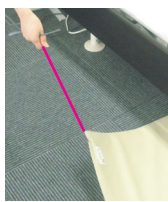
床敷きタイプのセンサーはマット等を上に敷く、起き上がりタイプ、ベッド端に寄ったことお知らせするタイプのセンサーはシーツを覆うことで対象者に気付かれにくくなります。



ここにセンサーがあります

スタッフが設置や片づけの際にケーブルを引っ張ってセンサーを移動させている…

設置時・片づけ時にケーブルを引っ張るということを繰り返していると、断線故障につながるため、必ずセンサー一部を持って作業を行って下さい。(特に、急角度での引っ張りはやめて下さい)



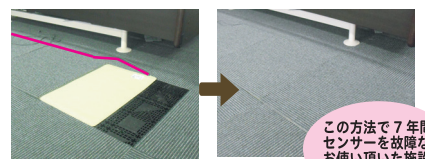
(床敷きタイプ)センサーのケーブルの上をベッドで踏むことがある…

極端的に大きな荷重がかかると、断線や破損につながりますので、キャスターで踏まないよう、ベッドの下をくぐらせる等の配線をして下さい。また、車いすも同様です。



(床敷きタイプ)センサーのケーブルがむき出しになっているため、対象者がセンサーに気付き引っ張ったりする…

センサーとそのケーブルを全てマットやじゅうたんで覆ってしまうことで、防ぐことができます。



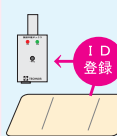
この方法で7年間センサーを故障なくお使い頂いた施設様があります！

### ケーブルがない『コードレスタイプ』で解決！



センサーに全くケーブルのない『コードレスタイプ』があります。設置が簡単なことはもちろん、ケーブルタイプのように、配線に気を付けたり、患者様の引っ掛け事故を心配する必要がありません。また、設置だけではなく保管の際もおりたたむだけです、手間がかかりません。

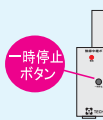
5台までセンサーの登録が可能！



無線中継ボックスにセンサーのIDを登録することで、最大5台までセンサーを管理することができます。

1人の患者様に数台のセンサーを使用したい場合、大部屋のセンサーを1台のナースコールで管理したい場合等に便利です。

一時停止ボタンでスイッチの入忘れ防止！



一時停止ボタンを押すと、5分間電源がオフの状態になり、5分経てば自動的に復旧しONの状態になります。

患者様の処置やベッド周りでの作業をしている間電源をOFFにし、そのままONにし忘れることを防げます。

### セミナーの活用で解決！

ベッドと実機を用いて、設置ポイントや工夫、他病院様での事例をご紹介します。質疑応答もしますので、どんな些細なことでもどんどん質問して下さい！

現場のスタッフの方が、離床センサーについてよく理解していないと、正しい運用ができないばかりか、故障等につながる可能性もあります。

